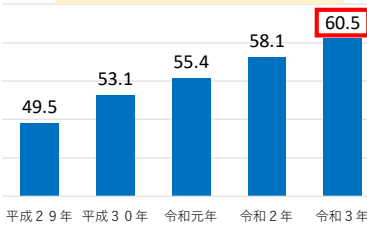
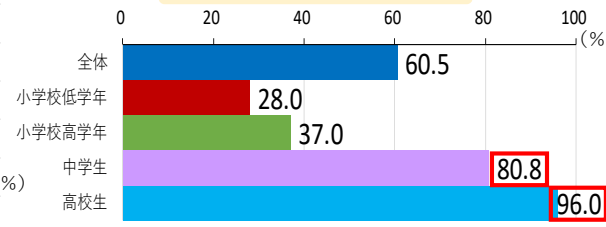


# ① 小中高生のスマートフォン所有率

過年度比較 (全体)



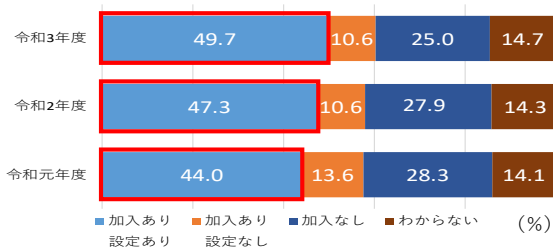
学識別 (令和3年度)



小中高生のスマートフォン所有率は5年連続で増加  
令和3年度は中学生では約80%、高校生では約96%が保有

# ② フィルタリングサービスの利用状況

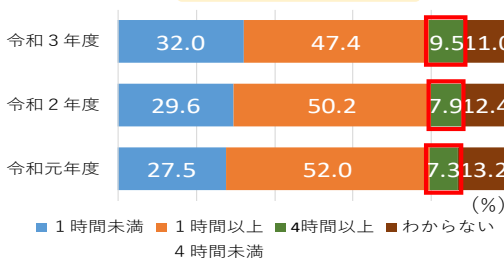
過年度比較



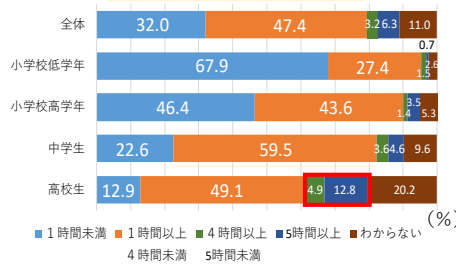
フィルタリング加入設定率は年々増加し、令和3年度は昨年度より約2.4ポイント増加  
他方、未だ約25%もの小中高生が加入していない状況

# ③ スマートフォン1日の使用時間

過年度比較



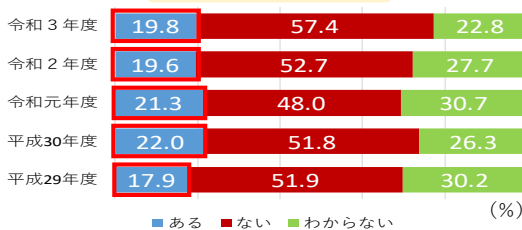
学識別



高校生では「4時間以上」、「5時間以上」の割合が他より多い状況

# ④ SNS等を通じた知らない人とのやりとり

過年度比較



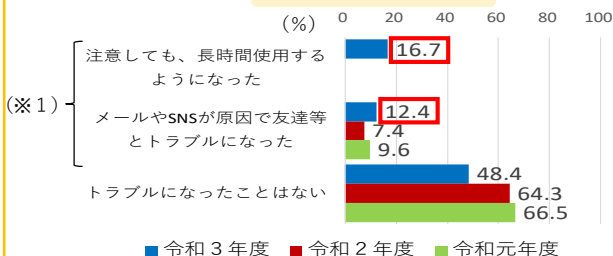
知らない人とのやりとりをしたことがある小中高生は過去5年約20%で推移

やりとりの具体的内容は以下のとおり

- ・ SNSでメッセージ送受信
- ・ 音声通話・ビデオ通話
- ・ 写真、動画の送受信 等

# ⑤ スマートフォン利用によるトラブルの有無

過年度比較



今年度調査から追加した「注意しても、長時間使用するようになった」(※2)が約17%と最も多かった  
また、次点の「メールやSNSが原因で友達等とトラブルになった」は前年度より約5ポイント増加し約12%であった

(※1) トラブル「有」については、複数選択となっており、上位2つを掲載

(※2) 本選択肢は、青少年が関与するネットトラブルの現状をより正確に分析するため、今年度から新たに追加